

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月8日
【四半期会計期間】	第57期第2四半期（自平成25年7月1日至平成25年9月30日）
【会社名】	セフテック株式会社
【英訳名】	SAFTEC CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長執行役員 岡崎 勇
【本店の所在の場所】	東京都文京区本郷5丁目25番14号
【電話番号】	03-3811-3188（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役兼執行役員経理部長 佐藤 雄考
【最寄りの連絡場所】	東京都文京区本郷5丁目25番14号
【電話番号】	03-3811-3188（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役兼執行役員経理部長 佐藤 雄考
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第56期 第2四半期連結 累計期間	第57期 第2四半期連結 累計期間	第56期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 9月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高(千円)	3,388,837	3,664,437	7,420,541
経常損益(千円)	60,999	11,885	234,580
四半期(当期)純損益(千円)	44,341	10,030	128,541
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	56,506	6,553	160,965
純資産額(千円)	3,302,621	3,466,717	3,520,092
総資産額(千円)	8,532,888	8,432,334	8,823,887
1株当たり四半期(当期)純損益 金額(円)	8.88	2.01	25.74
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	38.7	41.1	39.9
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	193,393	189,239	468,765
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	138,441	9,727	142,767
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	207,475	302,955	456,814
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	2,202,782	2,101,046	2,224,489

回次	第56期 第2四半期連結 会計期間	第57期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 7月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 7月1日 至平成25年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	6.04	7.67

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策等により企業収益の改善が見られ緩やかな景気の回復が見られました。

一方で、新興国経済の減速や米国の債務問題に対する懸念、円安進行による商品、原材料等の価格上昇等の景気減速リスクもあり依然として先行きは不透明な状況となっております。

当社グループが関連する工事用保安用品業界におきましては、人手や材料不足による着工遅れ等の懸念はあるものの、公共事業予算増加や震災復興による工事の継続により堅調に推移いたしました。

この様な状況下、レンタルへの商品投入コントロール、提案型営業の推進、販路拡大に取り組み売上増加に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高3,664百万円（前年同期比8.1%増）、営業利益27百万円（前年同期は36百万円の損失）、経常利益11百万円（前年同期は60百万円の損失）、四半期純損失10百万円（前年同期は44百万円の損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（東日本エリア）

当第2四半期連結累計期間において、東日本エリアの売上高は2,071百万円（前年同期比0.4%減）、営業利益は112百万円（前年同期比29.4%減）となりました。営業の状況としては、前年同期と比較して震災関連の特需が減少し売上高、営業利益ともに前期を下回っております。一方で公共工事予算は増加しており一部の地区を除いて売上は順調に推移しております。

（西日本エリア）

当第2四半期連結累計期間において、西日本エリアの売上高は1,593百万円（前年同期比21.7%増）、営業利益は114百万円（前年同期比804.5%増）となりました。営業の状況としては、前年同期は工事が少なく厳しい状況でありましたが、当連結会計年度は期初より好調であり全地区において売上は増加しております。利益面でも既存のレンタル商品が効率よく回転したことにより増加いたしました。

(2) 財政状態の分析

（資産）

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較して391百万円減少し8,432百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金の減少123百万円、受取手形及び売掛金の減少186百万円、商品及び製品の増加42百万円、リース資産の減少113百万円によるものであります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して338百万円減少し4,965百万円となりました。この主な要因は、借入金の減少120百万円、リース債務の減少122百万円、未払法人税等の減少70百万円であります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産の部は、前連結会計年度末と比較して53百万円減少し3,466百万円となりました。この主な要因は、四半期純損失10百万円、配当金の支払59百万円であります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ123百万円減少の2,101百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は189百万円（前年同期193百万円）となりました。

この内訳の主なものは、収入では減価償却費230百万円、売上債権の減少額186百万円、税金等調整前四半期純利益11百万円、支出ではレンタル資産取得による支出70百万円、たな卸資産の増加額40百万円、法人税等の支払額94百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は9百万円（前年同期138百万円）となりました。

この内訳の主なものは、収入ではその他の収入2百万円、支出では有形固定資産の取得による支出13百万円です。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は302百万円（前年同期207百万円）となりました。

この内訳の主なものは、借入金の減少120百万円、リース債務の返済による支出123百万円、配当金の支払額59百万円です。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における当社グループ全体の研究開発活動の総額は、174千円です。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	16,800,000
計	16,800,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月8日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	5,000,000	5,000,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数1,000株
計	5,000,000	5,000,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	5,000,000	-	886,000	-	968,090

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(有)裕崎興産	東京都文京区本郷5-25-14	1,384	27.69
岡崎 勇	東京都杉並区	984	19.68
セフテック従業員持株会	東京都文京区本郷5-25-14	106	2.13
(株)三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2-7-1	96	1.92
日本証券金融(株)	東京都中央区日本橋茅場町1-2-10	69	1.38
佐藤 兼義	静岡県湖西市	59	1.18
(株)SBI証券	東京都港区六本木1-6-1	56	1.12
松井証券(株)	東京都千代田区麹町1-4	50	1.00
(有)細田火薬店	兵庫県多可郡多可町加美区的場424	50	1.00
(株)みずほ銀行	東京都千代田区内幸町1-1-5	48	0.96
(株)りそな銀行	大阪府大阪市中央区備後町2-2-1	48	0.96
計	-	2,951	59.03

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 5,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 4,987,000	4,987	-
単元未満株式	普通株式 8,000	-	-
発行済株式総数	5,000,000	-	-
総株主の議決権	-	4,987	-

(注) 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式が911株含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は 名称	所有者の住所	自己名義所有株 式数(株)	他人名義所有株 式数(株)	所有株式数の合 計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
セフテック(株)	東京都文京区本郷 5-25-14	5,000	-	5,000	0.10
計	-	5,000	-	5,000	0.10

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,224,489	2,101,046
受取手形及び売掛金	2,171,801	1,985,006
商品及び製品	739,095	781,620
原材料	151,921	149,638
繰延税金資産	54,998	56,973
その他	38,957	43,388
貸倒引当金	11,200	10,300
流動資産合計	5,370,063	5,107,375
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	770,661	747,903
レンタル資産(純額)	198,675	193,796
土地	1,407,326	1,407,326
リース資産(純額)	557,138	443,204
その他(純額)	17,593	19,611
有形固定資産合計	2,951,396	2,811,841
無形固定資産		
投資その他の資産	19,844	17,972
投資有価証券	332,450	349,856
繰延税金資産	22,282	21,639
その他	147,308	145,833
貸倒引当金	19,459	22,184
投資その他の資産合計	482,582	495,144
固定資産合計	3,453,823	3,324,959
資産合計	8,823,887	8,432,334
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	896,571	893,000
短期借入金	1,631,000	1,601,000
1年内返済予定の長期借入金	300,000	275,000
リース債務	237,006	202,805
未払法人税等	100,225	29,633
賞与引当金	61,702	72,761
その他	202,664	168,896
流動負債合計	3,429,171	3,243,097
固定負債		
長期借入金	1,300,000	1,235,000
リース債務	337,180	248,800
長期未払金	65,600	65,600
再評価に係る繰延税金負債	110,827	110,827
退職給付引当金	59,536	60,813
その他	1,479	1,479
固定負債合計	1,874,622	1,722,519
負債合計	5,303,794	4,965,617

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	886,000	886,000
資本剰余金	968,090	968,090
利益剰余金	2,893,267	2,823,307
自己株式	1,556	1,556
株主資本合計	4,745,800	4,675,841
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42,592	59,176
土地再評価差額金	1,268,300	1,268,300
その他の包括利益累計額合計	1,225,707	1,209,124
純資産合計	3,520,092	3,466,717
負債純資産合計	8,823,887	8,432,334

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	3,388,837	3,664,437
売上原価	1,909,332	2,089,292
売上総利益	1,479,505	1,575,144
販売費及び一般管理費	¹ 1,515,997	¹ 1,547,436
営業利益又は営業損失()	36,492	27,708
営業外収益		
受取利息	2,445	1,775
受取配当金	1,886	2,046
貸倒引当金戻入額	1,444	819
その他	5,675	5,772
営業外収益合計	11,451	10,413
営業外費用		
支払利息	27,199	23,708
投資有価証券評価損	6,302	189
その他	2,457	2,339
営業外費用合計	35,959	26,236
経常利益又は経常損失()	60,999	11,885
特別利益		
受取保険金	20,032	-
特別利益合計	20,032	-
特別損失		
固定資産除却損	1,545	-
特別損失合計	1,545	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	42,512	11,885
法人税、住民税及び事業税	21,213	24,259
法人税等調整額	19,384	2,343
法人税等合計	1,829	21,915
少数株主損益調整前四半期純損失()	44,341	10,030
四半期純損失()	44,341	10,030

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	44,341	10,030
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,164	16,583
その他の包括利益合計	12,164	16,583
四半期包括利益	56,506	6,553
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	56,506	6,553
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	42,512	11,885
減価償却費	212,796	230,176
投資有価証券評価損益(は益)	6,302	189
貸倒引当金戻入益	1,444	819
固定資産除却損	1,545	-
受取保険金	20,032	-
レンタル資産取得による支出	72,237	70,164
受取利息及び受取配当金	4,331	3,822
支払利息	27,199	23,708
売上債権の増減額(は増加)	149,559	186,794
たな卸資産の増減額(は増加)	19,055	40,242
仕入債務の増減額(は減少)	58,360	3,571
その他	15,110	29,640
小計	194,538	304,493
利息及び配当金の受取額	4,372	3,964
利息の支払額	28,779	25,032
保険金の受取額	20,032	-
法人税等の支払額	10,220	94,185
法人税等の還付額	13,450	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	193,393	189,239
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	141,620	13,004
貸付金の回収による収入	894	854
その他の支出	1,048	536
その他の収入	3,333	2,959
投資活動によるキャッシュ・フロー	138,441	9,727
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	-	30,000
長期借入れによる収入	600,000	-
長期借入金の返済による支出	640,000	90,000
リース債務の返済による支出	107,610	123,273
自己株式の取得による支出	237	-
配当金の支払額	59,627	59,681
財務活動によるキャッシュ・フロー	207,475	302,955
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	152,523	123,443
現金及び現金同等物の期首残高	2,355,305	2,224,489
現金及び現金同等物の四半期末残高	¹ 2,202,782	¹ 2,101,046

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
運搬費	226,719千円	252,999千円
貸倒引当金繰入額	2,252	4,130
従業員給料・賞与	546,869	565,189
賞与引当金繰入額	74,540	70,346
退職給付費用	24,358	14,459
賃借料	185,899	177,519
減価償却費	34,386	37,281

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	2,202,782千円	2,101,046千円
現金及び現金同等物	2,202,782	2,101,046

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	59,940	12	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	59,929	12	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千

円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	東日本エリア	西日本エリア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,079,989	1,308,848	3,388,837	-	3,388,837
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,554	9,410	14,965	14,965	-
計	2,085,543	1,318,258	3,403,802	14,965	3,388,837
セグメント利益又は損 失()	160,036	12,617	172,653	209,146	36,492

(注)1.セグメント利益又は損失の調整額 209,146千円は、全社費用のうち配賦の困難な費用であります。

2.セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千

円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	東日本エリア	西日本エリア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,071,058	1,593,378	3,664,437	-	3,664,437
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,487	4,811	10,298	10,298	-
計	2,076,546	1,598,190	3,674,736	10,298	3,664,437
セグメント利益	112,992	114,126	227,118	199,410	27,708

(注)1.セグメント利益の調整額 199,410千円は、全社費用のうち配賦の困難な費用であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額()	8円88銭	2円01銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額()(千円)	44,341	10,030
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額()(千円)	44,341	10,030
普通株式の期中平均株式数(千株)	4,994	4,994

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月8日

セフテック株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 稲垣正人 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山崎一彦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているセフテック株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、セフテック株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。